

平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成16年8月5日

上場会社名 株式会社角川ホールディングス（コード番号：9477 東京証券取引所市場第二部）

（URL <http://www.kadokawa-hd.co.jp/>）

代表者 役職名 代表取締役社長兼CEO 氏名 角川 歴彦
 問合せ先責任者 役職名 財務・経理グループ統括マネジャー 氏名 松原 眞樹 TEL (03)3238-8401

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有（税金費用の計算は簡便法による）
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有（連結：新規2社除外1社 持分法：新規1社）

2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	30,231	38.6	2,583	181.9	2,348	93.1	1,362	163.7
16年3月期第1四半期	21,804	0.1	916	0.5	1,216	68.3	516	171.9
（参考）16年3月期	91,614		4,834		5,230		2,304	

	1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第1四半期	53	16	52	15
16年3月期第1四半期	20	03	20	00
（参考）16年3月期	86	78	86	49

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	130,620	78,150	59.8	3,049 60
16年3月期第1四半期	104,504	73,548	70.4	2,857 75
（参考）16年3月期	117,783	77,361	65.7	3,015 91

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	1,016	8,105	15,256	27,818
16年3月期第1四半期	1,117	3,030	741	31,272
（参考）16年3月期	4,910	6,036	7,066	19,648

3. 平成17年3月期の連結業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	58,000	2,500	1,400	
通期	121,000	5,800	2,850	106 00

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページを参照してください。

1. 定性的情報等

(1) 経営成績（連結）の進捗状況に関して

当四半期（平成16年4月～6月）における日本経済は、7月に発表された政府月例経済報告によれば、先行きを慎重に見極める必要があるものの、景気の回復が企業部門から家計部門へと波及しつつ堅調に進展しました。

出版業界は、社団法人出版科学研究所の調査によれば、当四半期の出版物推定販売金額は、前年同期間に比べて、雑誌2.3%減、書籍2.6%増、全体で0.4%減と、書籍は長期の不振から脱出する傾向を見せましたが、雑誌は依然として低迷しており、全体としては厳しい経営環境が継続しました。

一方、映像ソフト業界は、社団法人日本映像ソフト協会の調査によれば、当四半期のビデオソフト販売額は、DVD794億円（前年同期間比143.0%）、全体で945億円（前年同期間比116.7%）と成長が続いており、デジタル家電やメガバンドの急速な普及と相まって、新たなライフスタイルを求めた需要創造が実感されます。

このような環境のもと、当社グループは、出版事業と映像事業を両輪とする「出版・映像の総合企業グループ」としての事業基盤をより拡充すべく、基本方針である多様なコンテンツの創出とマーケティング強化に努めた結果、前年同期間に比べ、増収増益を実現できました。出版事業において、書籍（文庫、一般書及びコミックス）部門の売上が順調に推移したこと、ソフト事業において、映像コンテンツの多角的な活用を企図した戦略のもと、DVD販売及び権利ビジネスが大幅に伸びたこと並びにゲームソフト販売が予想を大きく上回ったこと、デジタルコンテンツ事業において、収益力強化により黒字基調が定着したことが、主な要因です。また、当四半期から前期に買収したメディアリーヴスグループの損益計算書が連結の対象となりました。

当第1四半期の連結業績は、売上高302億31百万円（前年同期間比138.6%）、営業利益25億83百万円（前年同期間比281.9%）、経常利益23億48百万円（前年同期間比193.1%）、当期純利益13億62百万円（前年同期間比263.7%）となりました。

なお、連結子会社数は、KADOKAWA ENTERTAINMENT U.S. INC.とKADOKAWA PICTURES USA, INC.を新たに設立し、トスカドメイン(株)が角川映画(株)と合併したことで、合計29社となりました。また、持分法適用関連会社数は、日本映像振興(株)を新たに設立したことで、合計9社となりました。

各事業セグメントの概況は次のとおりです。

出版事業セグメントは、売上高224億99百万円、セグメント営業利益18億66百万円となりました。

<雑誌・広告部門>

厳しい景況感に伴う低調な業界環境の影響を受けていますが、多様な領域でのブランド力を活かし、市場での認知度の強化に努めています。

テレビ番組情報誌「週刊ザテレビジョン」「月刊ザテレビジョン」（ともに角川書店）、アニメ・コミック誌「ニュータイプ」（角川書店）、ゲーム情報誌「電撃PlayStation」（メディアワークス）、ホビー誌「電撃HOBBY MAGAZINE」（メディアワークス）、生活情報誌「レタスクラブ」（SSコミュニケーションズ）、パソコン情報誌「週刊アスキー」（アスキー）、家庭用ゲーム情報誌「週刊ファミ通」（エンターブレイン）等が、それぞれの分野における確固たるブランド力を背景に、好調に推移しました。

<書籍部門>

編集企画力及びマーケティング力の強化策が奏功して、数多くの話題作、ヒット作に恵まれ、好調を維持しています。

単行本は、「ダ・ヴィンチ・コード（上・下）」（角川書店 ダン・ブラウン著）が話題を集め、好調に売上を伸ばし続けているほか、「電池が切れるまで」（角川書店 すずらん会の会編）「硝子のハンマー」（角川書店 貴志祐介著）等が、ヒット作品となりました。

文庫は、「新装版 人間の証明」（角川書店 森村誠一著）「アリソン（下）陰謀という名の列車」（メディアワークス 時雨沢恵一著）「フルメタル・パニック！ - サイドアームズ - 音程は哀しく、射程は遠く」（角川書店 賀東招二著）「パイロットフィッシュ」（角川書店 大崎善生著）等が、ヒットしました。

コミックスは、人気シリーズとして多くのファンに支持されている「新世紀エヴァンゲリオン 9」（角川書店 貞本義行著）「よつばと！ 2」（メディアワークス あずまきよひこ著）等が、大ヒット作品となりました。

ゲーム攻略本は、「ダービースタリオン04全書」（エンターブレイン）「J.LEAGUEプロサッカークラブをつくらう！'04 ザ・マスターガイド」（メディアワークス 電撃PlayStation編）「ポケットモンスター ファイアレッド・リーフグリーン 全国大図鑑」（エンターブレイン）等が、ゲーム人気と連動して着実に売上を伸ばしました。

ソフト事業セグメントは、売上高65億18百万円、セグメント営業利益10億43百万円となりました。

角川映画では、海外出資作品「ロード・オブ・ザ・リング/王の帰還」が、1・2作に続いて興行的に成功しました。また、DVD販売でも映画「陰陽師」「ロード・オブ・ザ・リング/二つの塔」等が好調な売上を記録しました。さらに、保有ライブラリーを活用した権利ビジネスも、多額のマーチャндаイジング収入を獲得しました。

角川書店では、アニメDVD「クロノクルセイド 1～3」「フルメタル・パニック?ふもっふ 6」「まぶらほ 4～6」等が、ヒット作品となりました。

エンターブレインでは、ゲームソフト「ダービースタリオン04」が、大ヒット商品となりました。

デジタルコンテンツ事業セグメントは、売上高9億74百万円、セグメント営業利益1億26百万円となりました。

角川インタラクティブ・メディア、角川デジックスは、好調を維持しています。また、ウォーカープラスは、一般ユーザー向けの携帯事業売上を順調に伸ばしました。

エンターブレインでは、ゲーム着信メロディを配信する携帯サイト「MelodyClip」が、好調を維持しました。

物流業、広告代理店業等から構成されるその他事業セグメントは、売上高2億37百万円、セグメント営業利益1億61百万円となりました。

物流事業では、継続して合理化を進めています。

(2) 財政状態(連結)の変動状況に関して

資産は、期首に比べて128億36百万円増加し、1,306億20百万円となりました。資金調達により現金及び預金が増加したこと、ドリームワークスへ出資したことが、主な要因です。

負債は、期首に比べて120億20百万円増加し、515億8百万円となりました。社債を発行したこと、短期借入れを行ったことが、主な要因です。

株主資本は、期首に比べて7億88百万円増加し、781億50百万円となりました。配当金の支払等の社外流出を上回る当期純利益13億62百万円を計上したことが、主な要因です。

株主資本比率は、社債発行、借入実行の影響が大きく、期首に比べて5.9ポイント下がり、59.8%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益23億75百万円を計上しましたが、法人税等の支払額の増加等により、前年同期間比1億円減の10億16百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、期間3ヵ月超定期預金の設定、ドリームワークスへの出資等により、前年同期間比111億36百万円減の81億5百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行、短期借入れ等により、前年同期間比159億97百万円増の152億56百万円の収入となりました。

合計81億69百万円の収入となり、現金及び現金同等物期末残高は、278億18百万円となりました。

(3) 業績予想に関して

当第1四半期の連結業績は、売上好調と収益力向上が相まって、前年同期間実績を売上、利益ともに上回りました。第2四半期以降も引き続き、グループをあげて、出版、映像、デジタルコンテンツの各分野で事業展開力の拡充を図り、優良コンテンツの創出と販売に邁進するとともに、事業構造改革をBPRから業態改革へと進化させながら継続推進することにより、一層の収益力向上に努める所存です。

なお、最近の連結業績の動向等を踏まえ、5月発表の連結業績予想値を、売上、収益ともに修正いたしました。

修正後の中間期業績予想は、売上高580億円(前中間期比131.1%)、経常利益25億円、当期純利益14億円といたします。

また、修正後の通期業績予想は、売上高1,210億円(前期比132.1%)、経常利益58億円、当期純利益28億50百万円といたします。

2. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	期別	当第1四半期 (平成16年6月30日)	前第1四半期 (平成15年6月30日)	増減		前連結会計年度 (平成16年3月31日)
		金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)						
流動資産						
1.現金及び預金		27,255	26,917	338		20,106
2.受取手形及び売掛金		27,389	21,572	5,816		29,923
3.有価証券		3,800	6,100	2,300		1,299
4.たな卸資産		7,243	5,025	2,217		6,897
5.繰延税金資産		1,781	905	876		1,780
6.その他		3,139	4,316	1,176		2,900
7.貸倒引当金		136	149	12		163
流動資産合計		70,474	64,687	5,786	8.9	62,745
固定資産						
(1)有形固定資産						
1.建物及び構築物		5,373	5,365	7		5,460
2.工具器具及び備品		1,168	1,052	115		1,152
3.土地		8,684	8,505	179		8,684
4.その他		225	208	17		188
有形固定資産合計		15,452	15,132	319	2.1	15,485
(2)無形固定資産						
1.連結調整勘定		7,555	1,601	5,953		7,982
2.その他		1,984	1,388	595		2,089
無形固定資産合計		9,539	2,990	6,549	219.0	10,072
(3)投資その他の資産						
1.投資有価証券		19,481	12,921	6,560		20,018
2.繰延税金資産		899	651	248		899
3.保険積立金		5,907	6,111	204		6,211
4.その他		9,276	2,387	6,888		2,776
5.貸倒引当金		411	377	33		426
投資その他の資産合計		35,154	21,694	13,459	62.0	29,480
固定資産合計		60,146	39,816	20,329	51.1	55,038
資産合計		130,620	104,504	26,115	25.0	117,783

(単位：百万円、%)

科目	期別	当第1四半期	前第1四半期	増減		前連結会計年度
		(平成16年6月30日)	(平成15年6月30日)	金額	増減率	(平成16年3月31日)
		金額	金額	金額		金額
(負債の部)						
流動負債						
1. 支払手形及び買掛金		18,252	16,326	1,925		20,662
2. 短期借入金		8,258	4,022	4,236		4,022
3. 未払法人税等		1,080	602	478		1,517
4. 賞与引当金		519	423	96		1,054
5. 返品調整引当金		2,318	1,490	828		2,402
6. その他		5,622	4,058	1,564		5,567
流動負債合計		36,051	26,922	9,129	33.9	35,227
固定負債						
1. 社債		11,400	-	11,400		-
2. 長期借入金		86	503	417		100
3. 繰延税金負債		2,349	790	1,559		2,426
4. 退職給付引当金		1,087	1,023	63		1,206
5. 役員退職慰労引当金		501	377	123		499
6. その他		32	121	88		28
固定負債合計		15,456	2,816	12,639	448.7	4,260
負債合計		51,508	29,739	21,769	73.2	39,488
(少数株主持分)						
少数株主持分		961	1,216	254	20.9	934
(資本の部)						
資本金		24,330	24,330	-	-	24,330
資本剰余金		25,381	25,374	6	0.0	25,381
利益剰余金		27,925	25,163	2,761	11.0	26,957
土地再評価差額金		587	587	-	-	587
その他有価証券 評価差額金		2,559	331	2,228	672.5	2,672
為替換算調整勘定		117	12	104	802.1	51
自己株式		1,343	1,052	290	27.6	1,343
資本合計		78,150	73,548	4,601	6.3	77,361
負債、少数株主持分 及び資本合計		130,620	104,504	26,115	25.0	117,783

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	期別	当第1四半期	前第1四半期	増減		前連結会計年度
		(自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)	(自平成15年4月1日 至平成15年6月30日)	金額	増減率	(自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
		金額	金額	金額	増減率	金額
売上高		30,231	21,804	8,426	38.6	91,614
売上原価		21,811	16,338	5,473	33.5	68,423
売上総利益		8,419	5,466	2,952	54.0	23,190
返品調整引当金戻入額		2,402	1,597	805		1,597
返品調整引当金繰入額		2,318	1,490	828		1,498
差引売上総利益		8,503	5,573	2,930	52.6	23,289
販売費及び一般管理費		5,920	4,656	1,263	27.1	18,455
営業利益		2,583	916	1,666	181.9	4,834
営業外収益						
1.受取利息		7	14	6		46
2.受取配当金		64	47	17		70
3.持分法による投資利益		-	8	8		-
4.受取保険金		22	207	185		333
5.古紙売却益		29	21	8		88
6.その他の		12	18	6		47
営業外収益合計		135	317	181	57.2	585
営業外費用						
1.支払利息		8	11	3		36
2.出資金運用損失		0	-	0		70
3.持分法による投資損失		343	-	343		54
4.その他の		18	6	12		28
営業外費用合計		370	17	352	-	189
経常利益		2,348	1,216	1,132	93.1	5,230
特別利益						
1.固定資産売却益		-	-	-		0
2.投資有価証券売却益		1	-	1		106
3.貸倒引当金戻入額		28	-	28		-
特別利益合計		30	-	30	-	107
特別損失						
1.固定資産売却損		-	-	-		0
2.固定資産除却損		1	-	1		85
3.投資有価証券評価損		-	48	48		174
4.会員権売却損		1	-	1		-
5.会員権評価損		-	-	-		49
6.特別割増退職金		-	19	19		19
7.役員退職慰労金		-	-	-		7
特別損失合計		3	68	64	95.2	336
税金等調整前当期純利益		2,375	1,147	1,227	107.0	5,001
法人税、住民税及び事業税		954	674	280	41.6	2,866
法人税等調整額		-	-	-	-	172
少数株主利益又は 少数株主損失()		58	42	101	-	3
当期純利益		1,362	516	845	163.7	2,304

注) 当第1四半期及び前第1四半期の税金費用の計算は簡便法による税効果会計を適用しており、「法人税等調整額」は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第1四半期 〔自平成16年4月1日 至平成16年6月30日〕	前第1四半期 〔自平成15年4月1日 至平成15年6月30日〕	前連結会計年度 〔自平成15年4月1日 至平成16年3月31日〕
		金額	金額	金額
(資本剰余金の部)				
	資本剰余金期首残高	25,381	25,374	25,374
	資本剰余金増加高	-	-	6
	1. 自己株式処分差益	-	-	6
	資本剰余金期末残高	25,381	25,374	25,381
(利益剰余金の部)				
	利益剰余金期首残高	26,957	25,061	25,061
	利益剰余金増加高	1,362	516	2,310
	1. 当期純利益	1,362	516	2,304
	2. 持分法適用関連会社の 増加に伴う増加高	-	-	5
	利益剰余金減少高	394	414	414
	1. 配当金	320	323	323
	2. 役員賞与金	74	91	91
	利益剰余金期末残高	27,925	25,163	26,957

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第1四半期 〔自平成16年4月1日 至平成16年6月30日〕	前第1四半期 〔自平成15年4月1日 至平成15年6月30日〕	前連結会計年度 〔自平成15年4月1日 至平成16年3月31日〕
		金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益		2,375	1,147	5,001
減価償却費		361	272	1,129
連結調整勘定償却額		427	94	422
退職給付引当金の増減額		119	73	256
役員退職慰労引当金の増減額		2	83	37
受取利息及び受取配当金		72	61	116
支払利息		8	11	36
持分法による投資損益		343	8	54
投資有価証券評価損		-	48	174
売上債権の増減額		2,535	2,495	1,115
たな卸資産の増減額		344	195	52
仕入債務の増減額		2,451	1,085	508
役員賞与の支払額		76	93	93
その他		635	685	429
小計		2,353	1,931	7,133
利息及び配当金の受取額		71	74	124
利息の支払額		10	13	38
法人税等の支払額		1,396	875	2,308
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,016	1,117	4,910
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有価証券の取得による支出		999	1,401	2,900
有価証券の売却等による収入		700	3,200	6,200
有形固定資産の取得による支出		49	57	499
無形固定資産の取得による支出		295	132	720
投資有価証券の取得による支出		205	200	3,266
投資有価証券の売却等による収入		8	-	163
子会社株式の取得による支出		0	-	7,067
保険積立金解約による収入		377	2,175	2,357
その他		7,641	552	302
投資活動によるキャッシュ・フロー		8,105	3,030	6,036
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額		4,284	26	44
長期借入金の返済による支出		62	328	6,213
社債の発行による収入		11,387	-	-
自己株式の取得による支出		-	224	647
配当金の支払額		320	323	323
その他		32	161	161
財務活動によるキャッシュ・フロー		15,256	741	7,066
現金及び現金同等物に係る換算差額		1	0	23
現金及び現金同等物の増減額		8,169	3,407	8,215
現金及び現金同等物期首残高		19,648	27,864	27,864
現金及び現金同等物期末残高		27,818	31,272	19,648

(5) セグメント情報

当第1四半期(自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)

(単位:百万円)

	出版事業	ソフト事業	デジタルコンテンツ事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	22,499	6,518	974	237	30,231	-	30,231
(2) セグメント間の内部売上高	184	26	494	788	1,494	(1,494)	-
計	22,684	6,545	1,469	1,026	31,725	(1,494)	30,231
営業費用	20,818	5,502	1,343	864	28,528	(880)	27,647
営業利益	1,866	1,043	126	161	3,197	(613)	2,583

前第1四半期(自平成15年4月1日 至平成15年6月30日)

(単位:百万円)

	出版事業	ソフト事業	デジタルコンテンツ事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	18,339	2,566	610	288	21,804	-	21,804
(2) セグメント間の内部売上高	170	20	498	861	1,551	(1,551)	-
計	18,509	2,587	1,108	1,150	23,355	(1,551)	21,804
営業費用	17,289	2,426	1,123	995	21,835	(947)	20,888
営業利益	1,219	160	15	154	1,520	(603)	916

前連結会計年度(自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)

(単位:百万円)

	出版事業	ソフト事業	デジタルコンテンツ事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	73,911	13,112	2,878	1,712	91,614	-	91,614
(2) セグメント間の内部売上高	933	189	2,024	3,152	6,299	(6,299)	-
計	74,844	13,301	4,902	4,865	97,913	(6,299)	91,614
営業費用	69,947	11,909	4,729	4,396	90,983	(4,203)	86,779
営業利益	4,896	1,391	172	469	6,930	(2,096)	4,834

注) 各区分に属する主要な製品及び役務

- (1) 出版事業...雑誌、書籍
- (2) ソフト事業...映画、ビデオソフト、ゲームソフト等
- (3) デジタルコンテンツ事業...ウェブサイト、デジタルコンテンツ制作等
- (4) その他事業...物流、不動産賃貸等